

日本の展望

— 学術からの提言2010 —

持続可能な社会の構築に向けて、学術はいま
Toward Sustainable Society: Science Now

人類の明日とよりよい社会の実現のため、学術は何をなすべきか。

日本の研究者の代表機関である日本学術会議が、今後10年から20年を見据え、我が国の学術と社会が目指すべき方向を発信します。

How can the science community work together for the future of humanity? The Science Council of Japan, the representative of the science community of Japan, looks ten to twenty years ahead and describes future directions of science and society in its recent report: "Japan Perspective: Proposals from the Science Community 2010."

平成22年4月
April, 2010



日本学術会議
Science Council of Japan

本提言・報告は、以下の日本学術会議
ホームページにて、全文が閲覧できます。
<http://www.scj.go.jp/>

主 提 言

4 つ の 再 構 築

日本の学術は、4つの再構築を目指します

- 人類の生存基盤の再構築
- 人間と人間の関係の再構築
- 人間と科学技術の関係の再構築
- 知の再構築

8 つ の 提 言

日本の学術は、8つの提言の実現を求めます

- (1) 全ての領域の科学を包摂する「学術」の発展を総合的に図り、その中で「科学技術」を推進
- (2) 研究に関する基本概念を整理し、学術政策のための統計データを早急に整備
- (3) 総合的学術政策の推進のために人文・社会科学の位置づけを強化
- (4) 大学の機能を強化するため、学術研究基盤の回復に向けて明確に舵を切る
- (5) 基礎研究と応用研究の両立を図りつつイノベーション政策を推進
- (6) 若手研究者が育ち、自立して活躍できるための施策を早急を実施
- (7) 学術における男女共同参画をさらに推進
- (8) 学術政策における専門家と日本学術会議の役割の強化



主 提 言



課 題 別 10 提 言



分 野 別 3 提 言 + 31 報 告



課題別 10 提言

日本と人類の課題にこう立ち向かう

- ◆ 21世紀の教養と教養教育
- ◆ 日本の基礎科学の発展とその長期展望
- ◆ 持続可能な世界の構築のために
- ◆ 地球環境問題
- ◆ 人間中心のアジア、世界に活躍するアジア
- ◆ 人を育む、知の連山としての大学へ向けて
- ◆ リスクに対応できる社会を目指して
- ◆ 現代における〈私〉と〈公〉、〈個人〉と〈国家〉
- ◆ 安全で安心できる持続的な情報社会に向けて
- ◆ 誰もが参加する持続可能な社会を

分野別 3 提言 + 31 報告

学術の将来をこう展望する

人文・社会科学分野

- 人文・社会科学からの提言
- 言語・文学分野の展望
- 哲学分野の展望
- 心理学分野の展望
- 教育学分野の展望
- 社会学分野の展望
- 史学分野の展望
- 地域研究分野の展望
- 法学分野の展望
- 政治学分野の展望
- 経済学分野の展望
- 経営学分野の展望

生命科学分野

- 生命科学からの提言
- 基礎生物学分野の展望
- 統合生物学分野の展望
- 農学分野の展望
- 食料科学分野の展望
- 基礎医学分野の展望
- 臨床医学分野の展望
- 健康・生活科学分野の展望
- 歯学分野の展望
- 薬学分野の展望

理学・工学分野

- 理学・工学からの提言
- 環境学分野の展望
- 数理科学分野の展望
- 物理学分野の展望
- 地球惑星科学分野の展望
- 情報学分野の展望
- 化学分野の展望
- 総合工学分野の展望
- 機械工学分野の展望
- 電気電子工学分野の展望
- 土木工学・建築学分野の展望
- 材料工学分野の展望



日本学術会議とは

日本学術会議は、210名の会員と約2000名の連携会員から構成され、我が国の科学者コミュニティを公式に代表する機関です。科学の向上発展を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを役割としています。日本学術会議には3つの部（第1部：人文・社会科学、第2部：生命科学、第3部：理学・工学）に30の分野別委員会が置かれています。また、常置委員会のほか時限的な課題別委員会が置かれ、学術と社会におけるさまざまな重要課題への提言を数多く行っています。「日本の展望」については、今後、6年（2会期）毎に見直し、発信していくことを目指します。

The Science Council of Japan (SCJ), which has 210 council members and about 2000 members, is the official representative of the science community of Japan. It plays a key role in promoting the development of better science, and introducing and disseminating scientific knowledge into government policy, industry, and everyday life. The SCJ has the three sections encompassing humanities and social sciences, life sciences, and physical sciences and engineering, which includes 30 specialty committees and also issue-centered committees, all of which make timely proposals on important issues related to science and society.

"Japan Perspective" consists of in total 45 proposals, namely, the executive summary, ten proposals on interdisciplinary and global issues, three from the sections, and 31 reviews from the specialty committees. "Japan Perspective" will be updated every six years.



<http://www.scj.go.jp/>